

ベルギーの洪水対策・気候変動予測・同適応策の概要

ベルギーは3つの地域(フランダース、ワロン、ブリュッセル)から成る連邦国家であり、水管理と空間計画は各地域の責務である。

許可制の自然災害(洪水を含む)保険制度の導入について検討中(2004年時点)。*1
堤防等の設計対象洪水規模は調査中であるが、100*2、350*1年確率の事例がある。
フランダース地方のシグマ計画(第2次)完了時には1万年確率洪水に対応。*1

ベルギーの2071~2100年の気温・降水量予測(高中低の3気候シナリオを用いて予測)は下表のとおり(1961~1990年比)。*3

洪水リスクの将来予測(1998年)によれば、2100年までに4~28%流量が増加し、調査対象全流域で洪水リスクが増加する結果となっている。*4

気候変動適応策としては、適応策の選択肢の評価・優先順位付けのためのリスクに基づく手法(拡張した費用便益分析)の提案*2が行われているが、具体的な実施事例はまだないようである。

表 ベルギーの気候変動予測(2071~2100年時点 1961~1990年比)*3

冬期気温	夏期気温	冬期降水量	夏期降水量
1.5~4.4°C上昇	2.4~7.2°C上昇	最大60%増加	最大70%減少

*1 RIZA Institute for Inland Water Management and Waste Water Treatment, Netherlands, "A quick scan of spatial measures and instruments for flood risk reduction in selected EU countries", pp.32, 33, 38, 2004.

*2 E. Giron, et al., SCIENCE FOR A SUSTAINABLE DEVELOPMENT, "TOWARDS AN INTEGRATED DECISION TOOL FOR ADAPTATION MEASURES – CASE STUDY: FLOODS "ADAPT" ", pp.8, 56, 2010.

*3 NATIONAL CLIMATE COMMISSION, "BELGIAN NATIONAL CLIMATE CHANGE ADAPTATION STRATEGY", pp.14-15, 2010.

*4 NATIONAL CLIMATE COMMISSION, "BELGIUM'S FIFTH NATIONAL COMMUNICATION CLIMATE CHANGE", pp.115, 2009.